第 3 問

設問A→赤色
設問B→水色

次の(1)～(4)の文章を読んで，下記の設問A・Bに答えなさい。解答は，解答用紙(ハ)の欄に，設問ごとに改行し，設問の記号を付して記入しなさい。

(1) 17 世紀を通じて，日本の最大の輸入品は中国産の生糸であった。ほかに，東南アジア産の砂糖や，朝鮮人参(にんじん)などの薬種も多く輸入された。それらの対価として，初めは銀が，やがて金や銅が支払われた。

輸入の増加→鉱産資源で支払う→鉱産資源の枯渇が問題に

(2) 江戸幕府は 1685 年に，長崎における生糸などの輸入額を制限した。1712 年には京都の織屋に日本産の生糸も使用するよう命じ，翌年には諸国に養蚕や製糸を奨励する触れを出した。

輸入額の制限、不足分の需要は国産によって補うという対策

同様の流れ

(3) 1720 年には，対馬藩に朝鮮人参を取り寄せるよう命じ，栽培を試みた。その後，試作に成功すると，1738 年には「江戸の御用達(ごようたし)町人に人参の種を販売させるので，誰でも希望する者は買うように」という触れを出した。

(4) 1727 年に幕府は，薩摩藩士を呼び出し，その教えに従って，サトウキビの栽培を試みた。その後も引き続き，製糖の方法を調査・研究した。

生糸(絹織物)
朝鮮人参(滋養強壮剤)
サトウキビ(菓子)
→ 嗜好品

安定した幕政
貨幣経済の普及
による富裕層の需要

設　問

A　江戸幕府が(2)～(4)のような政策をとった背景や意図として，貿易との関連では，どのようなことが考えられるか。2 行以内で述べなさい。

主題　条件

B　そうした政策をとった背景として，国内の消費生活において，どのような動きがあったと考えられるか。それぞれの産物の用途に留意して，3 行以内で述べなさい。

主題　条件